

長編ドキュメンタリー「夢の時代」抜粋 アムール下流域 ナナイ・ウリチ

あらすじ：

旧ソ連では、シャマニズムは、迷信を育む犯罪行為として弾圧され、多くのシャマンが迫害を受けた。しかし、民衆の秘かな支持に、その根絶はありえなかった。心あるロシアの民族学者たちはシベリア・極東の辺境部で生き延びたシャマニズムの研究をどう実施するかを探求していた。1980年代前半、彼らは、ソ連作曲家同盟のソ連少数民族民謡調査の中にシャマニズム調査を潜り込ませた。この抜粋は、1984年に彼らがアムール川下流域のナナイ・ウリチの居住区を訪問した時、同行取材していたラトビアのカメラマン、アンドレス・スラーピンシュがアマチュア用 16mm カメラと苦労して入手したエクタクローム・ビデオニュース・フィルムを使って記録したものである。

ナナイの居住区では、ナナイの女性シャマン数名の儀礼を記録した。水辺での水の精霊への祈願、病者を交えての平癒祈願など、当局の眼を掻い潜って秘かに続いていた民衆の願いの貴重な記録である。ウリチの居住区では主に熊送りにあたって奏される音楽と女性たちの踊りを記録している。被写体となってくれた人々の実名が次々とでてくるが、これは映像がまとめられた 1990 年には、シャマニズム弾圧体制が、既に崩壊していたことによる。

民族の現況：

ナナイは、ツングース系の言語を話し、アムール川とその支流ウスリー、スングアリーなどの川筋に暮らす、本来は漁撈民である。2010年のロシア国勢調査では総数 11,671 人、うちハバロフスク地方に 10,771 人、沿海地方に 387 人、サハリン州に 137 人など。中国の黒竜江省に 2000 年の調査で 4640 人とされ、民族名は赫哲族(ホジェン、ホーチョ、ヘジェ)と呼ばれている。ナナイはかつてはゴリドと呼ばれていた。帝政ロシアの将校で探検家であり、ソ連時代にハバロフスク郷土誌博物館長を務めたウラディミル・アルサーニエフの小説「デルス・ウザーラ」の主人公デルス・ウザーラは、ゴリドであった。この作品では触れられていないが、サケなどの魚皮を加工して衣類とすること、大河でチョウザメ漁を行う事が知られている。

ウリチも、ツングース系の言語を話し、アムール川の下流域の民である、やや上流のナナイと河口部のニブフに挟まれる形で居住する。総数約 3,000 人、およそ 30%が、母語をウリチ語と申告している。2002 年のロシア国勢調査では、自分をウリチと申告した者、2,913 人のうち、2,718 人がハバロフスク地方のウリチ地区を構成する 9 つの集落に居住する。主要伝統生業は川での漁撈、副次的に主に冬季に狩猟を行って来た。作品にあるように、河川の工場排水汚染と、製材企業の森林伐採により伝統生業の基盤は失われ、ロシア化した牛豚の飼育やジャガイモ栽培などを余儀なくされている。間宮林蔵がアムール下流域で接した山丹人は、ウリチであったと考えられている。この作品にもクマ送り関連の芸能が見られるが、ソ連崩壊後には熊送り行事が民族文化復興のため再現されている。

作者について：

アンドレス・スラーピンシュ カメラマン・映像作家

ラトビアの首都、リガで育ち、全ソ国立映画大学撮影科で学び、リガフィルム撮影所で短編・長編ドキュメンタリー作品の撮影・構成にあたる。1970年代後半から民族誌映像に関心を寄せ、厳しい規制を掻い潜ってシャマニズム調査を始めたロシアの民族学者グループに私費で数年にわたり同行取材を続けた。1982年、東独イェナでの科学映像祭で、岡田一男・大森康宏と出会い、取材の実態を明かした。支援を約したものの実現したのは、岡田が90年に網走北方民族博物館の映像収集に取り組んだときだった。80年代後半、ソ連の規制緩和を捉え彼は、目覚ましい活躍をした。バルトの民俗と英国のケルト文化を扱った長編作品を初の英ソ合作映画「記憶の中で」として実現、米国スミソニアン協会極北研究所の「新旧両大陸の交差点」企画展準備に協力、ロシア極北、アラスカ、カナダ各地で取材を続けた。郷里に戻ると、映像作家で同僚のユリス・ポドニクスのチームに加わりバルトの歌唱祭を扱ったNHKスペシャル「祖国」の撮影にあたった。シベリア・シャマニズムをまとめた長編作品、「夢の時代」の音付けを岡田の資金提供で90年秋に実現、モスクワ在住の民族学者、エレナ・ノヴィクは解説草稿を執筆した。年末それらを「祖国」日本側スタッフに託して岡田に届けた。翌年1月、隣国リトアニアの首都、ヴィルニユスのテレビ塔をソ連当局の接收から守ろうと取り巻く非武装市民をソ連軍が虐殺した事件を取材、一週間後、ラトビアの首都リガでのソ連民警特殊部隊によるラトビア内務省襲撃事件を撮影中に背後から狙撃され即死した。彼の遺族たちとの岡田の交流は今も続いている。

スラーピンシュの遺した16mmフィルムオリジナルは、モスクワ郊外のクラスノゴルスク映画写真記録保管所に移され、未亡人と彼の友人たちは、高精細度デジタルデータによる、この作品の完成に向けての作業を断続的にではあるが、今も続けている。